

事業コード	H18-建-新-2		区 分	国庫補助	県単独
事業名	国道特殊改良一種事業費		部局課室名	建設交通部 道路課	
事業種別	一次改良(現道拡幅)		班 名	企画班 (tel) 018-860-2485	
路線名等	一般国道108号		担当課長名	檜森 悦朗	
箇所名	由利本荘市道仏坂		担当者名	主幹兼班長 土谷 諄一	
総合計画との関連	政策コード	U	政策名	交流・連携と生活を支える交通基盤の整備	
	施策コード	03	施策名	地域間交流・連携を支える交通ネットワークの整備	
	指標コード	02	施策目標(指標)名	県管理国道改良率	

## 1. 事業の概要

事業期間	H19 ~ H23 (5年)		総事業費	9.0億円	国庫補助率	5.0/10	
事業規模	延長L=1,150m、幅員(構成)W=6.5(9.5)m、(1.5-6.5-1.5)m						
事業の立案に至る背景	<p>当該路線は、石巻市を起点とし湯沢市を経て由利本荘市に至る幹線道路であり、鳥海観光を支援する観光道路の機能を有するほか、日本海側と太平洋側を横断的に結んでおり、仙台圏と産業、経済の地域間交流を促進する重要な路線である。またバス路線にも指定されており、地域内交通を支える生活道路にもなっている。しかし、当該区間は、幅員狭小(W=5.0)mのため事故も多発しており、安全な交通を確保できていない状態にある。</p> <p>広域的な幹線道路として、また地域内を支える重要な生活道路として早急に整備する必要があることから、新規箇所として要望するものである。</p>						
事業目的	<p>大型車のすれ違い困難箇所の解消(地域づくりの支援)</p> <p>第二次緊急輸送道路としての機能確保(防災・危機管理の充実)</p> <p>異常気象時通行規制区間(時間雨量40mm、連続雨量120mm)の解消</p>						
事業費内訳 事業内容 (単位:千円)			全 体	H19 年度	H20 年度	H21 年度	H22 年度以降
	事業費		900,000	60,000	220,000	240,000	380,000
	経費 内訳	工事費	755,000		170,000	230,000	355,000
		用補費	87,000	45,000	40,000	1,000	1,000
		その他	58,000	15,000	10,000	9,000	24,000
	財源 内訳	国庫補助	450,000	30,000	110,000	120,000	190,000
		県 債	202,000	13,000	49,000	54,000	86,000
その他							
一般財源		248,000	17,000	61,000	66,000	104,000	
事業内容			用地測量 用地補償費	用地補償費 改良工	改良工	改良工 舗装工	
調査経緯	<p>平成13年度 道路予備設計</p> <p>平成14年度 道路詳細設計</p>						
上位計画での位置付け	あきた21総合計画「第3期実施計画」における施策「地域間交流・連携を支える交通ネットワークの整備」を支援する事業						
関連プロジェクト等	<p>由利本荘市(平成17年3月22日合併)の合併支援道路</p> <p>環鳥海連携による広域的周遊型観光圏の形成</p> <p>(あきた21総合計画「第3期実施計画」:由利地域計画)</p>						
事業を取り巻く情勢の変化	幅員狭小のため、人身事故が発生している(事故率:82件/億台km)						
事業効率把握の手法	指標名	路線整備率					
	指標式	整備率(整備済延長/路線実延長)					
	指標の種類	成果指標	業績指標	低減指標の有無	有 無		
	目標値 a	63 %		データ等の出典	道路統計年報		
	達成値 b	62 %					
達成率 b/a	97 %		把握の時期	平成18年 4月			

2. 所管課の1次評価

観 点	評 価 の 内 容 ( 特 記 事 項 )	評 価 点
必 要 性	日本海側と太平洋側を横断的に結ぶ広域幹線道路であるが、幅員狭小のため大型車のすれ違いが困難であり、地域振興・活性化に影響を及ぼしている。 バス路線に指定されている生活道路でもあるが、事故が多発しており、地域内の安全が確保されていない。(事故率82件/億台km)	13点
緊 急 性	異常気象時通行規制区間(時間雨量40mm、連続雨量120mm)に指定されている。 鳥海観光振興に寄与する道路であり、地域振興への影響が大きい。	15点
有 効 性	第二次緊急輸送道路に指定されており、防災対策上、整備は有効である。 鳥海観光、栗駒観光の観光道路として、冬期においても安全な交通が確保できる。	14点
効 率 性	事業の費用便益費は2.06であり、効率性は高い。 ・総費用の現在価値 8.8億円 ・総便益の現在価値18.2億円 近接現場との工程調整で発生土を流用することにより、コスト縮減を図っている。	30点
熟 度	由利本荘市及び由利本荘市議会から、早期着手の改良要望が出されている。	7点
判 定	ランク ( )	79点
	判定ランク であるが、評価点が79点と高く、事業を実施すべきである。	
総 合 評 価	選定 改善して選定 保留 評価結果から事業箇所としての優先度は高く、事業は実施すべきである。	

3. 総合政策課長の2次評価

総合評価	選定 改善して選定 保留
	当該路線は、日本海側と太平洋側を横断的に結ぶ幹線道路であると共に生活道路として重要な路線となっている。当該区間は、幅員狭小で大型車の通行に支障を来していることに加え、豪雨時は通行規制区間となっており、地域住民の生活にも大きな影響を及ぼしている。このため道路の改良等により、通行規制区間の解消も図るものであり、事業実施は妥当と判断される。

4. 財政課長意見

意見内容	選定 改善して選定 保留
	当該区間は、本荘由利地域と湯沢雄勝地域を結ぶ幹線であるが、幅員が狭小であり、大型車両の通行に支障をきたしていることから、当事業の実施は妥当と考える。

5. 最終評価(新規箇所選定会議)

総合評価	選定 改善して選定 保留
	事業の実施は妥当である。

6. 評価結果の当該事業への反映状況等(対応方針)

当該箇所を国に新規要望する。 事業実施にあたっては、コスト縮減等に努める。
--

7. 公共事業評価専門委員会意見

県の対応方針を「可」とする。
----------------

評価種別 新規箇所評価

事業コード(H18-建-新-2 )

適用基準名 道路改築事業(地域間交流・連携促進)

箇所名 (由利本荘市道仏坂 )

1. 評価内訳

観点	評価項目 細別	評価基準	配点	評価点	摘要
必要性	道路の現状の問題				
	道路構造上の欠陥箇所数	3箇所以上	15	10	2次改築事業については該当しない
	・車道幅員 < 5.5m	2箇所	10		
	・最小半径 < 100m	1箇所	5		
	・最急勾配 > 5%				
	・冬期堆雪巾なし	0箇所	0		
	道路環境上の欠陥該当項目	5件該当	15	3	2次改築は配点30点 2次改築は配点24点 2次改築は配点18点 2次改築は配点12点 2次改築は配点6点
	・現道の混雑度 1.0	4件該当	12		
	・現道の旅行速度 30km/h	3件該当	9		
	・現道の事故率 50件	2件該当	6		
・通学路指定で歩道なし	1件該当	3			
・重大交通事故が発生	該当項目なし	0			
計			30	13	
緊急性	道路をとりまく環境等				
	関連事業の有無	県の主要プロジェクト等に該当	5	5	
	・県の主要プロジェクト	地域振興プロジェクトに該当	3		
	・地域振興プロジェクト				
	・ほ場整備等の他事業	該当なし	0		
	市町村合併支援道路	位置づけあり	5	5	
	位置づけなし	0			
特有の課題の有無	あり	5	5		
老朽橋、災害危険箇所、冬期通行不能区間等	なし	0			
計			15	15	
有効性	道路の位置づけ				
	緊急輸送路	第1次輸送路	8	7	
		第2次輸送路	7		
		第3次輸送路	6		
		指定なし	0		
	秋田21総合計画	2施策以上該当	7	7	
	1施策該当	5			
	該当なし	0			
計			15	14	
効率性	事業の投資効果等				
	費用便益比(B/C)	1.5以上	20	20	
		1.0以上~1.5未満	10		
		1.0未満	0		
	計画交通量	5,000台/日以上	10	10	
	1,000台/日以上~5,000台日/未満	5			
	1,000台/日未満	0			
計			30	30	
熟度	地元の状況				
	地元ニーズ	文書要望あり	4	4	
		口頭要望あり	2		
		要望なし	0		
	地元の協力体制	地元の内諾	3	3	
		用地反対	0		
	地元への方針説明	あり	3		
	なし	0	0		
計			10	7	
合計			100	79	

2. 判定

ランク	判定内容	配点	判定	摘要
	優先度がかなり高い	80点以上		
	優先度が高い	60点以上~80点未満		
	優先度が低い	60点未満		